



# ひまわり

Vol. 116

編集 中村建設(株)

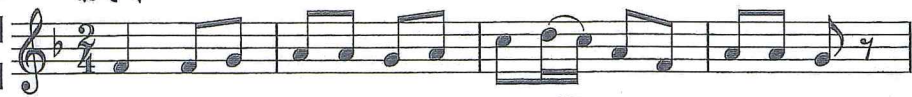
四時キ小古音1-1-7

隔日発行

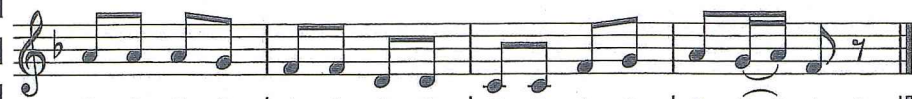
## きんぎよ ひるね 金魚の昼寝

鹿島鳴秋 作詞  
弘田龍太郎 作曲

おそく



2/4 1 1 2 | 3 3 2 3 | 5 6 5 3 1 | 3 3 2 0 |  
 1. あ かい ベベ き た か わー い い きんぎよ  
 2. あ かい きんぎよ は あぶーくを ひとつ



3 3 3 2 | 1 1 6 6 | 5 5 1 2 | 3 2 3 1 0 ||  
 お め め を さ ま せ ば ご ち そ う す る ぞ た  
 ひ ー る ね う と う と ゆ め か ら さ め ー た

1 赤いベベ着た

可愛い金魚

お眼々をさませば  
御馳走するぞ

2 赤い金魚は

あぶくを一つ

昼寝うとうと

夢からさめた

大正八年作曲



暑中お見舞い  
申し上げます。  
夏至から小暑・大暑へ暑さが日一日  
と増していく中、どうか体調崩され  
ませんようお氣をつけ下さいませ。  
今掌

# 社長のひとり言

国策

H 29.6.6 記

今、日本人として自国において豊かに生活して貰われるのは、これも皆、先祖様方のお陰であると日々感謝しております。

やはり、先祖の方々が独立した国を造るべく努力して来た事が元になつて、思うのです。最近その様な事を忘れかけて来ているようにさえ思えます。

又、最近私は国を守ることの大切さをつくづく感じています。これも近くの国の国策が、我が国を脅かす状況が、報道等を見聞きするにつけ感じられるからです。

国を守ることは、私達の生活や文化的価値を守ることに外なりません。

20世紀に入って、日本も清国・ロシア・アメリカ

とヨーロッパとの戦争は全てそのことのために

起つたことだと思つて、います。日本が戦争をし

なければならなかつた原因、それは国を守る為

仕方がないことであつたのではなかつたかと思つて、

最後の戦争、オ二次世界大戦は、日本が仕掛け

た戦争で近隣の諸国、特に中国・韓国には、

そう思われているようですが、私は三国同盟で

ドイツ(ナチス)やイタリア(ムッソリーニ)と組んだ事

が良く思われて、ない大きな原因ではないかと

思つて、私は日本が世界と戦つたことは

決して間違つてなかつたと思つて、います。

アメリカやヨーロッパの植民地政策に歯止めを

かける戦いであつたと聞つて、います。

私の浅い体験から、オイスカと云うボラニアア

団体と植林に行つた所に、現地の要人からその事を聞きまゐつた。

日本を除くアジアの国々は太平洋戦争が始まる前までは、白人が支配する

国の植民地でありました。その戦争に

よつて日本人の力を借りることにより

大戦後、独立した国々が沢山あります。

中国と韓国も同じです。独立国として

存在することが、どれだけ大切なことか

と、今一度考えてみる必要ではないかと思つて、

います。

ホ

ニ

ク

ニ

ク

日本の国

(トヨノモシ)

# 寄りみち

ご存じでしたか？

氷は電子レンジで加熱しても溶けない

どんな食材でもすぐに温めることが出来る

便利な電子レンジ。これはマイクロ波によって

食品に含まれている水分に作用して加熱して

従って、水分が含まれていないものは加熱出来ない

のです。氷はご存じのように水が固体化した

ものだが「水分がない為、マイクロ波が作用しない

その為、レンジで加熱しても溶けることがない

但し、氷の表面にはほんの僅かでも水が付いている

と、その水が加熱され全体に熱が伝わることで

すぐ溶けてしまうので念のため。

何をしていても暑い時期

水分補給はしっかりと。

# 夏の風物誌、花火の色は？

花火には様々な種類があり、一発

だけで色々な色とどりの光や表情を

見せてくれますが、これらの光の「素」は？

花火は、硝酸カリウムや塩素酸カリウム

などを元に作られた火薬と、着色に使

う物質、火の粉や煙を出す物質など

で構成。この内、着色する物質として

は、主に赤く光るストロンチウム、黄色

く光るナトリウム、青く光る銅、緑に

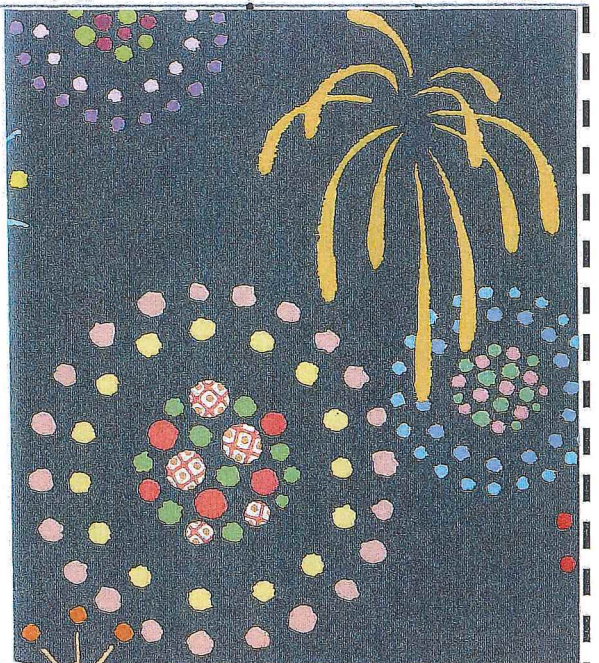
光るバリウムが使用されている。そして

煙を出す物質、亜鉛や硫黄は白い煙

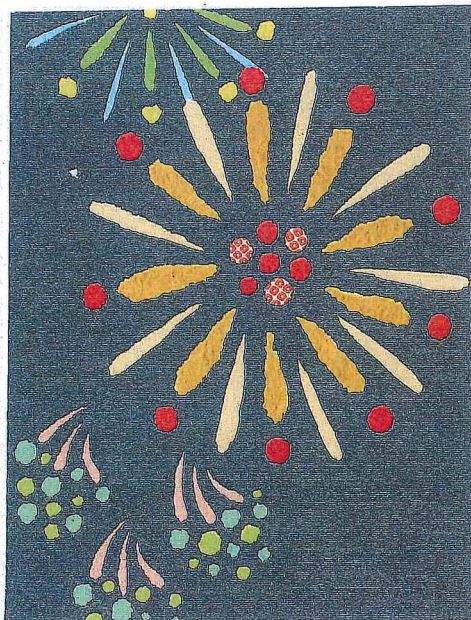
、イカン石は黄色い煙用に使用されて

いるそうです。

夏の夜空を彩る花火のお話でした。



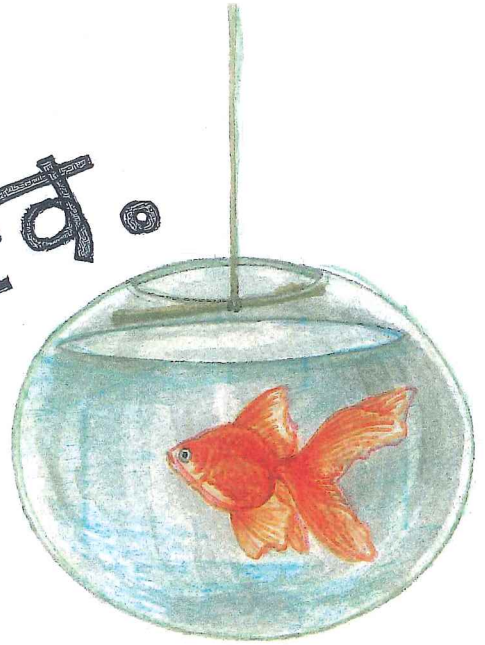
全ての人に思いやりと微笑みを  
向けられる心の余裕を！  
させて頂けることに感謝!!





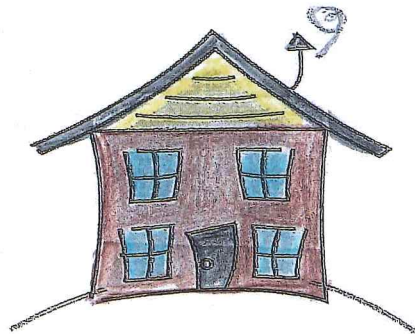
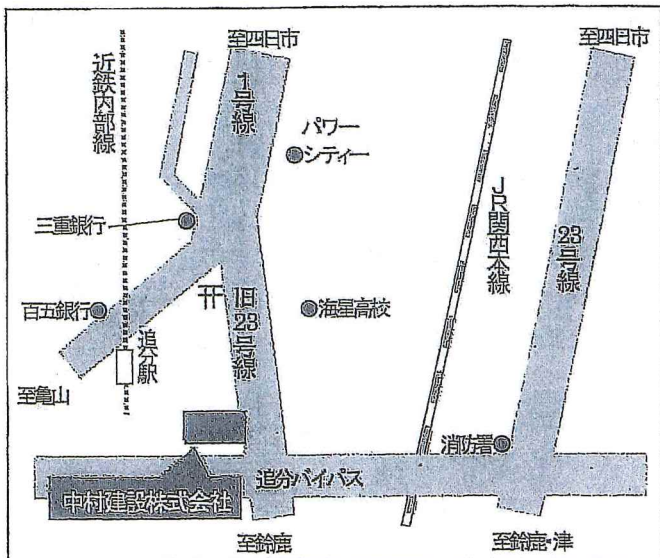
# 家庭環境の勉強会 「ホーミー教室」です。

お気軽に  
いらして下さい!  
お待ちしております!!



- 住宅は、資金をたくさんかけるのではなく、必要に応じてかけるべきです。
- 資金を借りられるから建てる。贅沢がしたいから家をつくる。それでは家庭経済は破たんします。
- 資金が足りなければ、未完成部分を残しましょう。それが自然体で安心平和な住まいづくりとなります。

- 住宅のプロとは建築家ではなく、住む人自身です。
- 住む人の生理的要求を無視することは、将来の不幸因となります。
- 幸せな家庭の永続と家族の将来の幸せをつくる環境を追求することが大事です。



TEL: 059-345-7726

NPO法人幸せな家庭環境をつくる会三重支部  
〒510-0958 四日市市小古管1-1-7 中村建設株式会社(内)

★フリーダイヤル★ 0120-834181